

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名	学童保育施設維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	中村 公彦	
計画	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	木場田 可織	
体系	基本事業	57	子育てと仕事の両立支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2315	
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市学童保育施設条例		成果優先度評価結果	: ⑫
	一般	3	2	4	10571				コスト削減優先度評価結果	: ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	学校内学童クラブ施設において不具合が生じた場合に、修繕や改修を行う事業。 なお、光熱水費については、旧合志で、平成5年度に南ヶ丘小に、平成7年度に合志南小に、仕事等で昼間保護者がいない小学校低学年児童の育成指導のため学童保育室が設置され、両施設とも町負担としていた。一方旧西合志では、運営主体の保護者会が負担しており、また、運営費には保育活動に係る経費も含んでいるため、合併協議により合併後は両町の助成方法等を統一することで調整されていることもあり、光熱水費については、平成19年度から保護者会負担とした。
【業務の流れ】	市内小学校学童クラブの施設修繕管理①現地確認 ②事業施行伺い ③見積徴収 ④工事完了報告書 ⑤検査 ⑥修繕費の支払
【主な予算費目】	施設修繕費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	毎年、保護者会から施設・備品等の修繕依頼があっていたが、協定を締結し経年劣化による修理以外は、10万円以下の場合保護者会負担としたので依頼が激減した。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
サッシ窓クレセントの交換(にじいろクラブ)、雨漏り修繕(くすの木クラブ)、経年劣化による畳表替え(スキップ)を行ない学童保育施設の施設管理を行なった。	学童保育施設の突発的な不具合に対し施設修繕を計画している。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア:施設修繕数 →イ:	箇所
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
学童クラブ室	(単位) ア:修繕等を必要とする箇所数 →イ: 施設
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・学童クラブ室を良好に維持する。 ・学童クラブ保護者会の経済的負担が軽減する。	(単位) ア:修繕した割合(修繕した力所数÷修繕等が必要な箇所数) % →イ:
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠 施設修繕であるため、修繕した割合とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
①活動指標	ア 箇所 イ		3	4	3	3	3	3	3	3
②対象指標	ア 施設 イ		0	4	3	3	3	3	3	3
③成果指標	ア % イ		100	100	100	100	100	100	100	100
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	675	913	100	87	100	200	200
		(A)事業費計	千円	675	913	100	87	100	200	200
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	1	3	3	3	3	3
人件費	延べ業務時間	時間	120	100	140	180	140	140	140	
	(B)人件費計	千円	488	398	557	717	557	557	557	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,163	1,311	657	804	657	757	757	

事務事業名	学童保育施設維持管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	--------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 学童クラブから申し出のあった修繕が必要な部分については、全て対応することができた。
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 申し出のあった修繕は全て対応する予定である。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 施設管理事業であるため、向上余地がない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 施設の修繕等の事業であるため他に手段はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成25年度より、放課後児童健全育成クラブ管理運営に関する協定書を市、保護者会間で締結し、小規模な施設・設備の修繕等を保護者会で負担することとしており、市の負担は軽減している。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の人員配置で業務を遂行しており今以上の削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 放課後児童健全育成事業は、国が規定する事業であるため、その施設に不具合が出た場合に対応することは公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 平成25年度より、市と各学童クラブ保護者会間で行使し放課後児童健全育成クラブ管理運営に関する協定書を締結し、施設・設備の維持管理の費用負担を区分したため、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成26年度は必要としている修繕について全て対応できた。今後は、築15年以上経過した施設もあるため施設修繕等の要望も増える可能性があるが、児童の安全、安心な保育のため出来る限り迅速に対応していきたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						